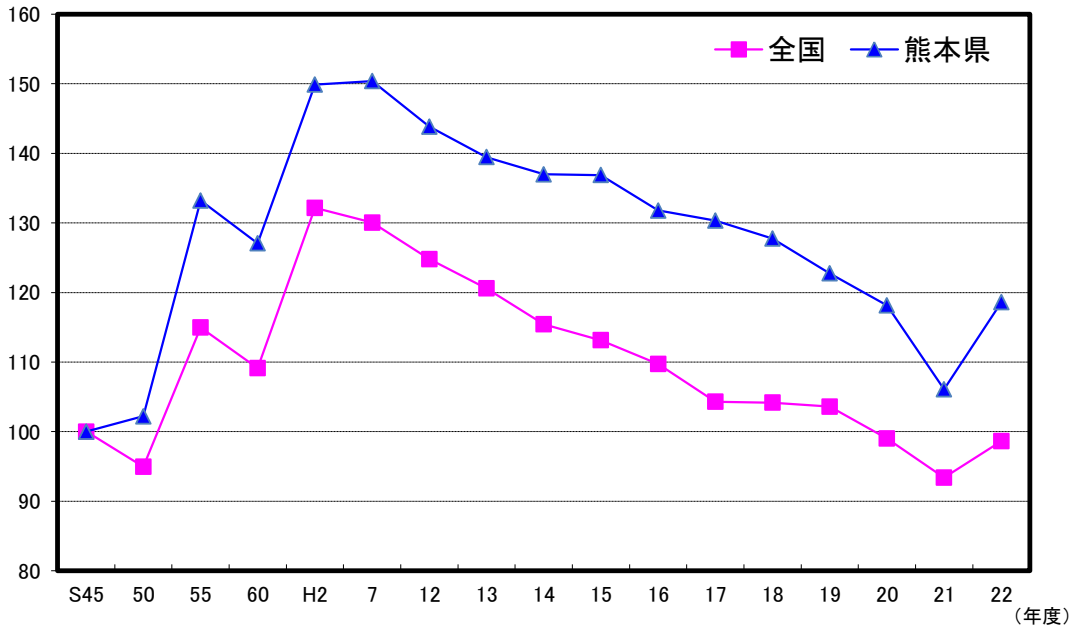


自動車貨物輸送量の推移（昭和45年度＝100）



解 説

【概要】

平成22年度の県内自動車旅客輸送人員は70,452千人で全国の5,941,344千人の1.2%を占めている。

また、自動車貨物輸送トン数は73,558千トンで全国4,563,182千トンの1.6%を占めている。

なお、平成24年3月31日現在の保有自動車数は、乗用車が566,154台（同1.4%）、バスが3,883台（同1.7%）、トラックが102,318台（同1.7%）となっている。

本県の自動車貨物輸送量の推移をみると、平成7年度には昭和45年度の1.5倍になったが、近年の減少傾向により平成21年度には1.06倍まで縮小したが、平成22年度には1.19倍まで増加している。

○自動車旅客輸送人員

都道府県別輸送量は、「自動車輸送統計年報」の地方運輸局別輸送量を、運輸支局別登録自動車数の比率（各年度末）により推計したものである。ただし貨物自動車及び軽自動車の分は含まない。

○自動車貨物輸送量

都道府県別輸送量は、「自動車輸送統計年報」の地方運輸局別輸送量を、運輸支局別登録自動車数の比率（各年度末）により推計したものである。ただし、特殊用途車を含み、軽自動車は含まない。

○一人当たり自動車貨物輸送量

自動車貨物輸送量÷推計人口（平成22年10月1日現在）

注1：自動車輸送統計調査は平成22年度より調査方法及び集計方法を変更したため、21年度以前とは連続しない。

注2：平成23年3月の東日本大震災の影響により、北海道運輸局、東北運輸局管内の3月の数値は含まない。

資料出所	調査期日	調査周期
「交通関連統計資料集」 国土交通省	平成22年度	毎年